

新施設（京都市地域リハビリテーション推進センター，京都市こころの健康増進センター，京都市児童福祉センターの一体化整備） 設計に係るワークショップニュース

～利用しやすく，親しみのある施設をめざして～



京都市では，身体障害のある方のための「地域リハビリテーション推進センター」，精神障害のある方のための「こころの健康増進センター」，児童のための「児童福祉センター」の一層の機能充実，3施設の連携強化による相乗効果の発揮，専門的中核機関として全市的な相談支援体制を充実させること，効率的な整備の実施などを目的として，3施設を一体的に整備する取組を進めており，今年度から新施設の設計に着手しています。

この度，設計を進めるに当たり，新施設のわかりやすい案内表示や使いやすい設備等について，御意見やアイデア等を聴取するため，ワークショップを2日間開催しました。

このワークショップニュースでは，当日の様子をはじめ，参加者の皆さんからいただいた様々な御意見，アイデア等を御紹介させていただくとともに，それに対応する具体的な設備等の例などを紹介します。

また，参加者の皆さんに考えていただきました，新施設のキャッチフレーズを御紹介いたします。



▶ ワークショップのスケジュール

1日目 令和元年7月16日（火） 午後6時30分～午後8時30分 場所：京都市地域リハビリテーション推進センター研修室

- ・「今の施設，ここが使いにくい」「新しい施設，こうなったらいいな」
- ・「交流スペース，こんなふうに使ったらおもしろい」

2日目 令和元年8月27日（火） 午後7時～午後8時30分 場所：京都市地域リハビリテーション推進センター研修室

- ・「わたしたちの新施設 良さを知ってもらおう」

1日目ワークショップのまとめの感想

アピールポイントは何だろう？

キャッチフレーズを考えよう！

1日目ワークショップの報告

1日目ワークショップには、施設を利用されている方、関係団体の方、周辺施設の方など計24名の方に御参加いただきました。5つのグループに分かれて、活発な意見交換をしていただきました。

18:30

3施設一体化整備事業の概要説明

整備に当たっての基本理念、整備の目的をはじめ、事業用地等の現況、整備スケジュール等の説明

ワークショップ

18:50

基本設計検討イメージ

施設概要（各階構成、各階ゾーニング）

ワークショップの進行等の説明

18:55

ワーク①

「今の施設、ここが使いにくい」

「新しい施設、こうなったらいいな」

19:25

グループによる発表

19:45

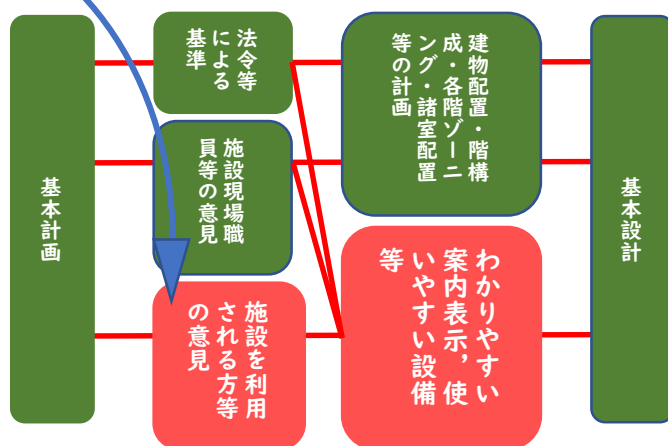
ワーク②

「交流ゾーン、こんなふうに使ったらおもしろい」

20:15

グループによる発表

基本設計検討イメージ図



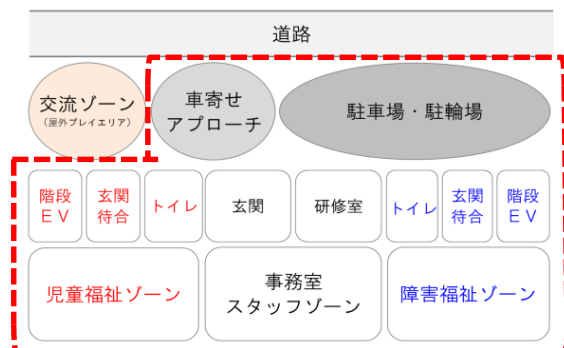
施設概要

階	入居する施設
5階	障害者支援部門（入所・通所） 障害者支援施設（自立訓練、施設入所、短期入所、通所）
4階	障害者支援部門（通所） 障害者支援施設（通所） 精神保健福祉センター（デイ・ケア事業） 京都市朱雀工房 京都市地域生活支援センターなごやかサロン
3階	児童支援部門 児童相談所 児童発達支援センター（こぐま園）
2階	診療部門等 児童福祉センター診療所 児童発達支援センター（うさぎ園） 地域リハビリテーション推進センター診療所 こころの健康増進センター診療所
1階	相談部門 児童相談所 身体障害者更生相談所 高次脳機能障害者支援センター 精神保健福祉センター（デイ・ケア事業以外） 知的障害者更生相談所 児童福祉センター診療所（発達検査） 発達障害者支援センター（かがやき）

ワーク①「今の施設、ここが使いにくい」「新しい施設、こうなったらいいな」

1日目のワーク①では、大きな用紙に御意見やアイデア等を書いた付箋をどんどん貼っていき、グループによる発表をしていただきました。

集まりました御意見やアイデア等の一部を御紹介いたします。

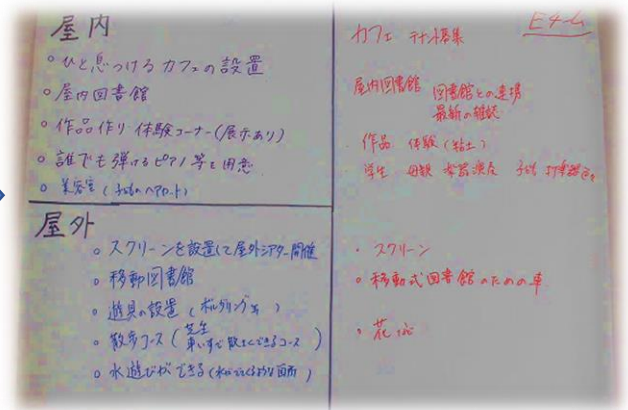


ゾーン	御意見・アイデア等
車寄せ アプローチ	十分な広さの車寄せ。子どもの待つ場所 駐車場からエントランスへの配慮
駐車場 駐輪場	駐車場に屋根を付ける。 車椅子で乗降りできるスペース できるだけたくさん停められるようにする。 バイク、乳母車等区分したスペース
玄関 待合	目的場所がわかりやすい案内表示等の工夫 子ども目線、車椅子目線での設備や案内板も 来所者の行き先を色テープ等でわかりやすく案内 手話通訳者の常駐、電光掲示、音声案内装置、筆談ボードなど 人が多いと待つことがしんどい子がいる。(プライベート用仕切り) 待合は他者と顔が合わない。ゆったりした広さ
E V 階段	電動車椅子も安心して乗れる広さ E V操作盤の位置とわかりやすい操作 (工夫) 緊急連絡時はモニター連絡 (聴障者も連絡できるシステム) 段差が小さく乗りやすいE V 階段踊り場でぶつからないにミラーを付ける。 E Vホールにもテレビや本等を置く。
トイレ	バリアフリートイレに。 大人も使えるユニバーサルベットの設置 広い多機能トイレ オストメイトトイレ 子ども用トイレを明るく 親子が安心して使えるトイレ トイレに鍵2つ。鍵位置は大事 (子どもの施錠, 大人の施錠)
その他	わかりやすい点字ブロック (黄色) 最寄り駅からのループバスetc 検査室までの廊下は明るい雰囲気 プライバシーが守られながら相談できるパーソナルゾーンを 保護者同士の情報交換の場 どんな困りごとがあり、どんな相談に来たのかスムーズに相談できる工夫 誰に相談したらいいかわかりやすく

ワーク②「交流ゾーン こんなふうに使ったらおもしろい」

ワーク①と同様、模造紙に御意見やアイデア等を書き込んでいき、グループによる発表をしていただきました。

集まりました御意見やアイデア等の一部を御紹介します。



ゾーン

御意見・アイデア等

屋内

(使い方) ボールプール・おもちゃ・絵本おとしコーナー
福祉用具・機器の試用コーナー
楽しい遊具と見守る親のエリア
ライブスペース (楽器は誰でも使えるようにしておく)
図書スペース、絵本読み聞かせ (手話も)、視聴覚室
物販スペース
季節ごとの作品展・ギャラリー
物づくり工房、体験コーナー (物づくり交流ができる)
一息つけるカフェ、喫茶スペース、自動販売機
美容室 (子どものヘアカット)

(考え方) いろんな団体が使えるように
子ども連れの方にとって駐車場が近い方がいい。
遊具を置くなら切替えが大変。選択できるように

屋外

(使い方) 子どもが自由に遊べる場
遊具
遊具は置かない。フラットで
水遊びができる場、小川
芝生広場 (屋根付き、道を付けて車椅子でも移動可)
椅子とテーブルを置く (おしゃべりスペース)
イベントスペース、屋外シアター
イベント等の混雑時は駐車場になる。
日影スペース
季節の (自然) 花、花壇や野菜づくり

(考え方) 子どもが自由に遊べる (敷地を出ないよう安全性確保)
入りやすいイメージ
地域との交流
個々の交流レベルに配慮
なんとなく居てもいい場所 (オープン過ぎず、無理に交流しなくてもいい)

2日目ワークショップの報告

2日目ワークショップには、計21名の方に御参加いただきました。1日目とは違うグループに分かれて、1日目と同じく5グループで、活発な意見交換をしていただきました。

2日目ワークショップの流れ

19:00

本日の概要説明

1日目ワークショップのまとめ

19:40

ワークショップの進行等の説明

ワーク

「私たちの新施設 良さを知ってもらおう」

1日目ワークショップのまとめの感想

新しい施設 アピールポイントは？

キャッチフレーズを考えよう！

20:15

グループによる発表



1日目ワークショップのまとめ

1日目ワークショップで出ました御意見、アイデア等から、使いやすい設備等とはどのようなものか、具体的な設備等の例を紹介しながら、1日目のまとめを行いました。

ゾーン

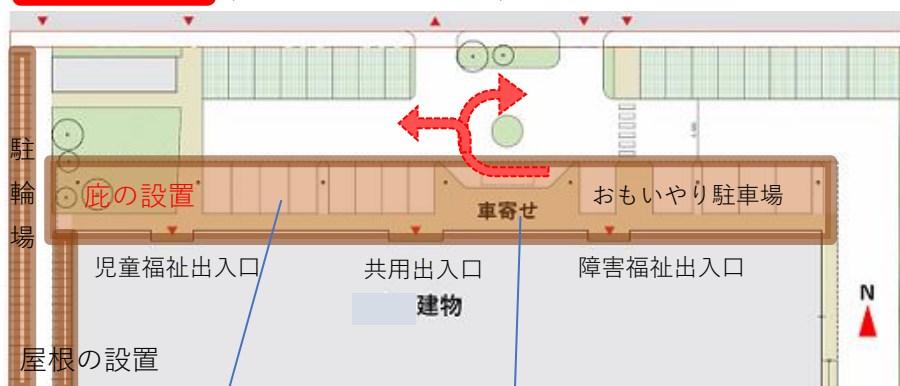
車寄せ
アプローチ

駐車場
駐輪場

必要な対応例等

- ・使いやすいロータリー（広い車寄せ、庇の設置）
- ・建物出入口まで短い動線
- ・おもいやり駐車場の設置
- ・様々な来所方法への対応
- ・歩行者の安全に配慮した計画

設備等の例 (あくまでイメージです。)



ゾーン

玄関
待合

必要な対応例等

- ・車いすでも使用しやすい広々とした廊下
- ・バリアフリーへの配慮
- ・子どもが遊びながら待てる待合
- ・人が多いところが苦手な利用者に配慮した待合スペース

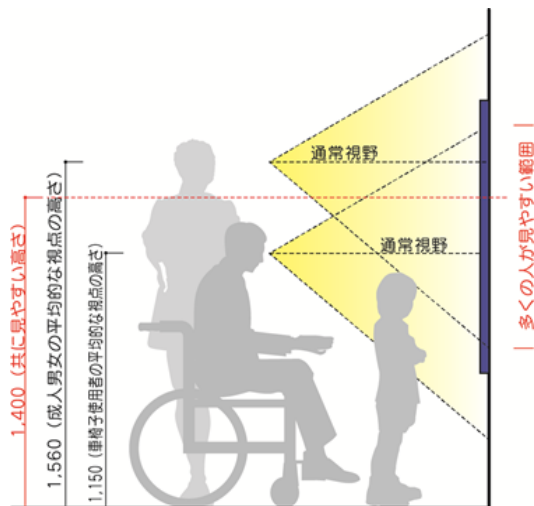
設備等の例 (あくまでイメージです。)



幅の広い廊下



視線を遮るくぼんだ待合



カウンターの高さに限らず手すり／サイン／掲示板などにも高さへの配慮

ゾーン

必要な対応例等

EV 階段

- ・人、車椅子利用者、物品の移動に適切な広さなど
- ・高齢者、障害のあるひとに配慮
- ・事故やケガの防止
- ・見通しの良い階段

設備等の例

(あくまでイメージです。)



鏡設置（車椅子降車時の安全確認等）



乗降りにやさしい段差のない出入口

視覚障害者対応仕様



- ・音声案内
- ・点字表示
- ・戸開放延長ボタン

聴覚障害者対応仕様

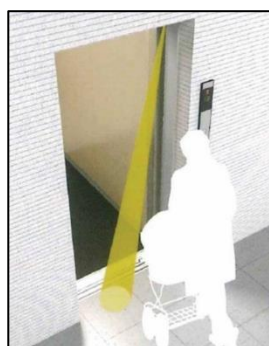
ランプの点灯点滅による案内



低い位置の操作盤を設置



戸袋に近づく児童の手や小荷物を検知するドア



閉じかけたドアを開く
モーションセンサ



見通しの良い階段例

ゾーン

必要な対応例等

トイレ

- ・バリアフリーに配慮したトイレ
- ・親子の利用にも使いやすいトイレ
- ・子ども用のトイレの設置
- ・内側から掛ける鍵は2箇所（子どもの手が届かない位置にも鍵がある。）

設備等の例 (あくまでイメージです。)



車いすの転回や、介助ができる
十分なスペースを確保



附属設備等の例

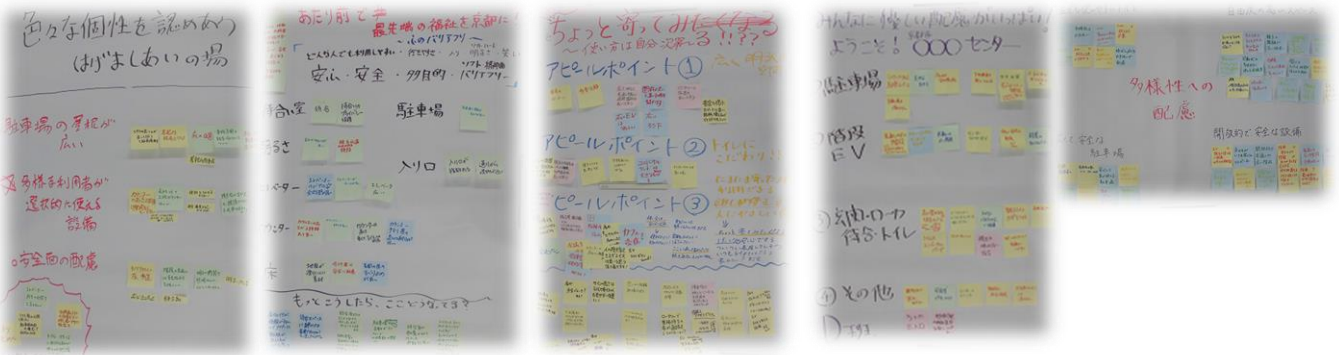
(多機能トイレ)

- ・可動式手すり (便器)
 - ・L型手すり
 - ・背もたれ
 - ・ユニバーサルシート
 - ・ベビーチェアー
 - ・オストメイト設備 等
- (親子トイレ)
- ・子ども用便器併設
 - ・子ども用手洗い併設 等

- ・L型手すり
- ・男子用小便器手すり
- ・手洗い用手すり
- ・ベビーチェアー 等

ワーク「私たちの新施設 良さを知ってもらおう」

2日目のワークでは、各グループで、1日目ワークショップのまとめの感想を出し合い、新施設のアピールポイントを考えていただきました。また、アピールポイントから、キャッチフレーズを考えていただき、グループによる発表をしていただきました。



こんなキャッチフレーズを考えていただきました!

- ・色んな個性を認めあう はげましあいの場
- ・あたり前で最先端の福祉を京都に〜心のバリアフリー〜
- ・ちょっと寄ってみる!!? ~使い方は自分次第~
- ・みんなに優しい配慮がいっぱい ようこそ! 京都市〇〇〇センター
- ・多様性への配慮

ワークでは、1日目ワークショップのまとめの感想として、良い点から改善すべき点等まで様々な御意見をいただきました。

良い点

ヒサシの広いのがいい(1F)(駐車場側)
階段の見通しは安全性があり 気持ちいい
待合のプライバシー保護
エレベーターのドアの安全対策が良い
入り口が複数ある
通りから建物が近い
車寄せ ロータリー
P前が広いと車いすの乗降助かります!
広いEVはうれしい
親子トイレを含めトイレの多用途化はいいと思う
カウンターの高さへの配慮OK
段差のないエレベーター
トイレ 手すりに工夫がされている
トイレ 多目的トイレ LGBTの人向け 良い
可動式で多目的に使える会議室

改善点等

待合スペースの視線をさえぎる必要はあるのか?
ソフト面の心配(使い方)駐車場利用の優先?利用の仕方
待合スペースに静かな音楽(アロマね)を流したらどうか
利用のしやすさはわかったが駐車場の台数が少ないか
防災面の配慮がわからなかった避難経路は
トイレの便器には、背もたれ付きでおねがいします。
降車時の待きスペースは子供達は余計に走りまわらないか
入り口を分けたが待つところは同じ?
研修室仕切っても音は?となりには聞こえない?
交流スペースは必要?会議研修室でいいのでは?

主催者から

2日間にわたるワークショップは、利用者にとってわかりやすい案内表示や使いやすい設備等についてをテーマとさせていただきました。

参加者の皆様には、新しい施設はこうなったらいいなという御意見やアイデア等をどんどん出し合い、活発に意見交換をしていただきました。皆さんの御意見で大きな成果が得られたと思います。

ワークショップでの成果をさらに慎重に検討し、新しい施設が、利用しやすく、親しみやすい施設になるよう基本設計をまとめてまいります。

御協力いただきました皆様、大変お疲れさまでした。

ありがとうございました。



健康長寿のまち・京都



京都はくみ憲章



京都市
CITY OF KYOTO

京都市はSDGsを
支援しています。



2030年に向けて
世界が合意した
「持続可能な開発目標」です

この印刷物が不要
になれば
「雑がみ」として
古紙回収等へ!

